

夕張市沼ノ沢での航空緑化工の緑化状況について（その3）

1 はじめに

2023 年に、空知森林管理署様の発注により、夕張市沼ノ沢の国有林内の崩壊地への大型ヘリコプターによるスラリー（液体に固体を混ぜ合わせたもの）散布が実施されました。散布には、当社で扱っている ECO バインドエアー 2 工法（EBA 2）を主体としたスラリーが使用されています。

今回、施工後 3 年を経過した緑化の状況を確認しました。

2 緑化の概要

(1) 施工年月日：2023 年 7 月 20 日

(2) 対象地：夕張市沼ノ沢の国有林 2341 林班（胆振東部地震（2018 年）の際に発生した崩壊地約 0.8 ヘクタール

(3) 緑化工法：ECO バインドエアー 2 工法（EBA 2）を主体とした材料を大型ヘリコプターで散布

3 当該地の緑化状況

(1) EBA2 の施工当初の状況

2019 年 9 月 16 日時点で、崩壊地は土色の状態でした。（写真①）

2023 年 10 月 18 日（施工後約 3 か月）で、うっすらと緑色になっています。（写真②）



(2) EBA2 施工地の現況

2026 年 9 月 15 日（写真③④）にドローンで確認したところ、表層土砂が斜面に堆積している箇所や、シカの通り道と思われる筋も多数確認されるなど、植生が定着するには厳しい環境であることが伺えます。しかしながら、被覆度合いは低いものの、全体的に植生が確認状況であることから、今後も経過観察を継続していきたいと思っています。

